



「ホンモノの力」

生命の海科学館の一階に横たわる、大きな木の化石。そっと手で触れるとヒンヤリしつとり、丸太のような見た目とは裏腹なさわり心地です。よく見るとところどころ、水晶が生えているところがあります。美しくきらめく六角柱の姿をした水晶は、メノウや石英と同じ鉱物のなかまです。

先日、小学生のグループが来館したとき、水晶を見せて「これと同じものが化石の中に隠れているよ。探してごらん」と言ったところ、チビッコたちは大騒ぎ。

「知ってるよ。クリスタルでしょ？」「ゲームに出てきた石だ！」と歓声を上げていました。実物を見たことはなくても、アニメ

やゲームにはよく登場するらしいのですね、「クリスタル」が。子どもたちにとっては、ファンタジーの世界の魔法の道具が現実にも現れた感覚なのではないでしょうか。実物にさわった瞬間、「あれっ？冷たくない！」と言っていたのが印象的でした。

家庭でのインターネット普及率が80%を超え、写真や動画で世界各地のさまざまな情報を手に入れることができる時代になりました。こうなるとますます、本物の価値、実物の大切さが際立ちます。展示の中で、隕石やアンモナイト、クビナガリユウなどよく知られた標本ほど人気が高いのは、「コレがアレの本物か！」という感動があるからでしょうか。

学びの秋、たまには日常をはなれて、地球のことや環境のこと、考えてみませんか？ いつかTVやWEBで見た、本で読んだ、図鑑で見た、地球の歴史を物語る数々の隕石や化石が、科学館で皆さんをお待ちしています。

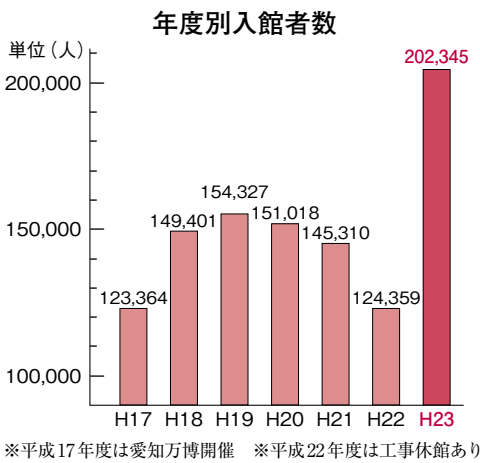


科学館の受付で、虫めがねを無料で貸し出している。化石や隕石の見どころガイドも付いています。科学の宝探しを、どうぞお楽しみください。

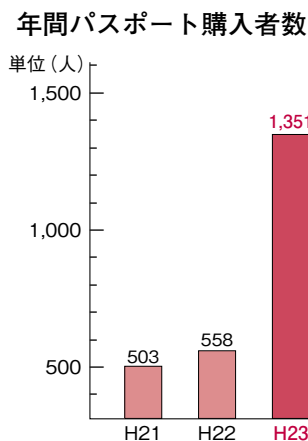
数字で見る がまごおり

～水族館ランキング～

観光商工課 ☎66♦1120



■元氣だ！水族館
経済状況などから多くのレジャー施設で入場者数が減少していますが、その中であって竹島水族館は元氣です。
昨年3月にリニューアルした影響もあり、平成23年度は、入館者が17年ぶりに年間20万人を突破しました。



■増えるリピーター
水族館の新たな傾向として、リピーターの増加があげられます。このことは、年間パスポートの購入者が増えていることからわかります。季節ごとの展示替えなど、水族館職員の地道な活動の成果といえます。

平成23年度対前年度入園館者比率ベスト5(中部地区)

順位	都市名	対前年度比
1	寺泊水族博物館	166.9%
2	蒲都市竹島水族館	162.7%
3	鯖江市西山動物園	157.1%
4	大町山岳博物館	137.1%
5	長野市茶白山動物園	115.2%

※順位は全33施設中の順位

■中部地区2位の対前年比
平成23年度は、東日本大震災の影響などもあり、どの施設(動物園・水族館)も前年度に比べ入場者数が減少傾向にありましたが、竹島水族館は、前年比162.7%という驚異的な数字を記録しました。